

リチウムイオン電池（バッテリー）の出し方について

令和5年7月7日、大崎広域リサイクルセンターで火災が発生し、ベルトコンベアの一部が焼損しました。発火当時、不燃ごみを細かく砕く作業をしており、リチウムイオン電池が原因と思われます。



焼損したベルトコンベア



ベルトコンベア上部



焼損・脱落したベルト

リチウムイオン電池は、充電して使用できる製品の多くに使われており、強い衝撃や圧力が加わることで発火します。

「燃やせないごみ」や「プラスチック製容器包装」等の他のごみに混入していると処理する際に押しつぶされて発火し、**大変危険**です！

リチウムイオン電池による火災は、**住民の皆さまの協力によって防ぐことができます。**



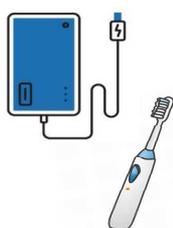
現在、リチウムイオン電池は「燃やせないごみ」に多く出されていますが、オレンジ色の「小型家電・乾電池」のボックスに入れてください。



△ボックスに入れる際の注意事項△

- ・電池残量を使い切ってからごみに出してください。
- ・取り外しができるものは取り外し、電池・バッテリーのみを出してください。
- ・取り外しができないものは、無理に取り外そうとせず、製品のまま出してください。
- ・端子の部分にテープを貼り、絶縁してください

リチウムイオン電池が使用されている製品の一例



- ・モバイルバッテリー
- ・電動歯ブラシ
- ・ハンディ扇風機

- ・電子タバコ
- ・電動シェーバー
- ・電動工具



リチウムイオン電池本体には、リサイクルマークが表示されています。

ごみの分別徹底にご協力お願いします。